

平成22年度

(自 平成22年4月1日～至 平成23年3月31日)

事業報告書

学校法人 関西女子学園

目 次

1 法人の概要	
(1) 建学の精神	1
(2) 学校法人の沿革	
(3) 設置する学校・学部・学科等	2
①宝塚大学	
②宝塚大学大学院	
③宝塚大学専門職大学院	
(4) 学校・学部・学科の学生数の状況	4
①学部・学科の入学定員及び収容定員・学年別在籍学生数	
②大学院研究科・専攻の入学定員及び収容定員・学年別在籍学生数	
③専門職大学院研究科・専攻の入学定員及び収容定員・学年別在籍学生数	
(5) 平成22年度卒業生数の状況	5
①大学学部	
②大学院	
③専門職大学院	
(6) 役員の概要	6
(7) 評議員の概要	7
(8) 教職員の概要	7
①教員	
②職員	
2 事業の概要	8
(1) 事業の概要	
(2) 主な施設・設備の整備、事業の実施	
3 財務の概要	9
(1) 決算の概要	
(2) 経年比較(5年間)	
(3) 主な財務比率の比較(5年間)	
4 学部・学科・専攻／大学院・研究科の構成及び入学定員	16

1 法人の概要

(1) 建学の精神

アルスの大学(感性とわざの大学)を基本理念とし、社会に貢献できる人材を育成します。本学園の建学の精神「芸術と科学の協調」に基づき、これをさらに新しい時代にふさわしく進化させたものが、本学の基本理念「アルスの大学(感性とわざの大学)」です。「アルス」はアートの語源ですが、もとは技術・技能の意味でした。本学は造形・芸術と医療の二つの分野を持つ大学です。それらを結ぶキーワードがアルスです。

感性、すなわち人のこころに対する深い洞察力は造形・芸術及び看護といった「癒し」の行為に必須のものであり、それらの行為の実践には「わざ」を磨くことが何よりも大切です。「わざ」はからだで感じて習得するものであり、からだで感じたわざはさらに感性を研ぎ澄まして行きます。

この基本理念に照らし、造形・芸術及び看護の分野において感性とわざを磨き、人のこころに響く作品の制作や、人のこころに自らのこころを重ねる看護といった重い仕事に、それらを支える優れたわざをもって従事し、社会に貢献できる人材を育成することが本学の使命・目的です。

(2) 学校法人の沿革

- 昭和42年1月 学校法人関西女子学園創設
- 昭和42年4月 関西女子学園短期大学開設
- 昭和50年6月 関西女子学園短期大学を関西女子美術短期大学に改称
- 昭和62年4月 宝塚造形芸術大学造形学部美術学科及び産業デザイン学科開設
- 平成5年4月 宝塚造形芸術大学大学院修士課程開設
- 平成7年4月 宝塚造形芸術大学造形学部映像造形学科開設
- 平成8年4月 関西女子美術短期大学を関西芸術短期大学に改称
- 平成11年4月 宝塚造形芸術大学造形学部芸術情報学科開設
- 平成12年4月 宝塚造形芸術大学大学院博士課程開設
- 平成13年4月 関西芸術短期大学を宝塚造形芸術大学短期大学部に改称
- 平成15年4月 宝塚造形芸術大学造形短期大学部の学生募集停止
- 平成15年4月 宝塚造形芸術大学大学院修士課程大阪梅田サテライト開設
- 平成16年4月 宝塚造形芸術大学専門職大学院専門職学位課程開設
- 平成17年4月 宝塚造形芸術大学メディア・コンテンツ学部映像造形学科及び
コンテンツ・プロデューサ学科開設
- 平成18年4月 宝塚造形芸術大学大学院修士課程東京新宿サテライト開設

- 平成19年4月 宝塚造形芸術大学東京メディア・コンテンツ学部メディア・コンテンツ学科開設
- 平成20年4月 宝塚造形芸術大学メディア・コンテンツ学部映像造形学科をメディア・コンテンツ学科に名称変更し、同学部コンテンツ・プロデューサ学科の学生募集停止
- 平成22年4月 宝塚造形芸術大学を宝塚大学に改称
- 平成22年4月 宝塚造形芸術大学造形学部美術学科、産業デザイン学科、芸術情報学科及びメディア・コンテンツ学部メディア・コンテンツ学科の2学部4学科を宝塚大学造形芸術学部アート・デザイン学科、メディア・デザイン学科の1学部2学科に改組を行う
- 平成22年4月 宝塚造形芸術大学造形学部美術学科、産業デザイン学科、芸術情報学科の学生募集停止
- 平成22年4月 宝塚大学看護学部看護学科を開設

(3) 設置する学校・学部・学科等（平成22年5月1日現在）

①宝塚大学

●造形芸術学部

アート・デザイン学科

メディア・デザイン学科

「所在地：兵庫県宝塚市花屋敷つつじガ丘7番27号」

●造形学部

美術学科(在学生全員の卒業を待って廃止する)

産業デザイン学科(在学生全員の卒業を待って廃止する)

芸術情報学科(在学生全員の卒業を待って廃止する)

「所在地：兵庫県宝塚市花屋敷つつじガ丘7番27号」

以上は造形芸術学部のアート・デザイン学科に包含され授業内容は継続されています。

●メディア・コンテンツ学部

メディア・コンテンツ学科（平成20年4月映像造形学科をメディア・コンテンツ学科に名称変更する・在学生全員の卒業を待って廃止する）

コンテンツ・プロデューサ学科（在学生全員の卒業を待って廃止する）

「所在地：兵庫県宝塚市花屋敷つつじガ丘7番27号」

以上は造形芸術学部のメディア・デザイン学科に包含され授業内容は継続されています。

●看護学部

看護学科

「所在地：大阪府大阪市北区芝田一丁目13番16号」

●東京メディア・コンテンツ学部

メディア・コンテンツ学科

「所在地：東京都新宿区西新宿七丁目11番1号」

②宝塚大学大学院

●メディア・造形研究科（修士課程）

造形・デザイン専攻

メディア・コンテンツ専攻

「所在地：兵庫県宝塚市花屋敷つつじガ丘7番27号

サテライト：大阪府大阪市北区芝田一丁目13番16号

サテライト：東京都新宿区西新宿七丁目11番1号」

●メディア・造形研究科（博士課程後期）

造形・デザイン専攻

「所在地：兵庫県宝塚市花屋敷つつじガ丘7番27号

サテライト：東京都新宿区西新宿七丁目11番1号」

③宝塚大学専門職大学院

●デザイン経営研究科（専門職学位課程）

デザイン経営専攻

「所在地：大阪府大阪市北区芝田一丁目13番16号」

(4) 学校・学部・学科等の学生数の状況（平成22年5月1日現在）

①学部・学科の入学定員及び収容定員・学年別在籍学生数

●大学学部

（単位：人）

学部	学科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
造形芸術	アート・デザイン	150	150	76	-	-	-	76
	メディア・デザイン	160	160	70	-	-	-	70
計		310	310	146	-	-	-	146
造形	美術	-	160	-	23	19	39	81
	産業デザイン	-	540	-	114	107	175	396
	芸術情報	-	130	-	38	29	41	108
計		-	830	-	175	155	255	585
メディア・コンテンツ	メディア・コンテンツ	-	760	-	116	145	220	481
	コンテンツ・プロデューサ	-	50	-	-	-	6	6
計		-	810	-	116	145	226	487
看護	看護	100	100	127	-	-	-	127
計		100	100	127	-	-	-	127
東京メディア・コンテンツ	メディア・コンテンツ	130	520	135	157	155	140	587
計		130	520	135	157	155	140	587
合計		540	2,570	408	448	455	621	1,932

②大学院研究科・専攻の入学定員及び収容定員・学年別在籍学生数

●修士課程

（単位：人）

研究科	専攻	入学定員	収容定員	1年次	2年次	合計	備考
メディア・造形	造形・デザイン	40	80	10	6	16	宝塚キャンパス
	メディア・コンテンツ	40	80	4	1	5	
計		80	160	14	7	21	
メディア・造形	造形・デザイン	サテライト	サテライト	0	4	4	大阪梅田キャンパス
	メディア・コンテンツ			0	1	1	
計				0	5	5	
メディア・造形	造形・デザイン	サテライト	サテライト	0	2	2	東京新宿キャンパス
	メディア・コンテンツ			9	6	15	
計				9	8	17	
合計		80	160	23	20	43	

●博士課程

(単位：人)

研究科	専攻	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	合計	備考
メディア・造形	造形・デザイン	3	9	3	1	5	9	宝塚キャンパス
				1	2	3	6	東京新宿キャンパス
合計		3	9	4	3	8	15	

③専門職大学院研究科・専攻の入学定員及び収容定員・学年別在籍学生数 (単位：人)

研究科	専攻	入学定員	収容定員	1年次	2年次	合計	備考
デザイン経営	デザイン経営	20	40	0	4	4	大阪梅田キャンパス
計		20	40	0	4	4	

(5) 平成23年度卒業生数の状況 (平成23年3月31日現在)

①大学学部

造形学部

美術学科	36人
産業デザイン学科	152人
芸術情報学科	38人

メディア・コンテンツ学部

映像造形学科	169人
コンテンツ・プロデューサ学科	3人

東京メディア・コンテンツ学部

メディア・コンテンツ学科	120人
計	518人

②大学院

修士課程 (メディア・造形研究科)	17人
博士課程 (造形研究科)	1人
博士課程 (メディア・造形研究科)	1人
計	19人

③専門職大学院

専門職学位課程 (デザイン経営研究科)	2人
計	2人
総合計	539人

(6) 役員の概要 (平成23年5月21日現在)

理事：定数6～9名 現員7名、監事：定数2名 現員2名

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
理事長	崎田 喜美枝	常勤	平成21年11月理事長就任
理事	西村 武	常勤	平成22年4月理事就任
理事	朝野 富三	常勤	平成22年4月理事就任
理事	喜多 光信	常勤	平成17年4月理事就任
理事	三木 敏男	非常勤	平成15年8月理事就任
理事	迫田 太	非常勤	平成22年4月理事就任
理事	内海 紀雄	非常勤	平成22年4月理事就任
監事	若林 勝雄	非常勤	平成21年5月監事就任
監事	山本 宣雄	非常勤	平成22年11月監事就任

前会計年度の決算承認にかかる理事会開催日後の退任役員

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
理事	五十嵐 淳	非常勤	昭和62年7月理事就任 平成22年12月退任
監事	仲里 新光	非常勤	平成20年3月監事就任 平成22年11月退任

●理事会開催回数 年12回

(7) 評議員の概要（平成23年5月21日現在）

定員15～20名 現員16名

氏名	主な現職等
崎田 喜美枝	理事長
朝野 富三	理事・宝塚大学 教授
喜多 光信	理事
大村 皓一	宝塚大学 副学長
圓山 茂子	宝塚大学 教授
柴田 恭亮	宝塚大学 看護学部長
小清水 漸	宝塚大学 教授
田淵 晉也	元 宝塚大学 図書館長(現 宝塚大学 非常勤講師)
玉本 隆一	(学)関西女子学園 法人本部事務局長
栗本 幸枝	スペースデコ(株) 代表取締役(卒業生)
大野 千英美	無職(卒業生)
三木 敏男	理事・(株)サングローブ 代表取締役
内海 紀雄	理事・元 (株)朝日新聞社 代表取締役専務
大橋 太朗	元 阪急電鉄(株) 代表取締役社長
小森 幹男	元 阪急電鉄(株) 専務取締役
太田 信隆	元 宝塚造形芸術大学 短期大学部 教授

●評議員会開催回数 年5回

(8) 教職員の概要（平成22年5月1日現在）

①教員

専任教員	教授	59人
	准教授	13人
	専任講師	20人
	助教	9人
	教務助手	4人
	計	105人

②職員

専任職員	38人
パート職員	3人
嘱託職員	3人
契約職員	4人
計	48人

2 事業の概要

(1) 事業の概要

本学園を取り巻く経営環境は少子化等の影響により他大学と同様厳しい状況にあります。このような状況下で本学園としても学生数確保に対策を講じてきました。平成22年度の入学者数は看護学部で定員を上回る入学者を確保したにもかかわらず、入学者全体でピーク時の平成19年度の57%（434名）となりました。

平成22年度の事業方針として学生満足度の向上及び安全性を目標に教育環境の整備・充実を図るべく以下の事業を実施して参りました。

- ① 宝塚造形芸術大学を宝塚大学に改称した。
- ② 宝塚造形芸術大学造形学部美術学科、産業デザイン学科、芸術情報学科及びメディア・コンテンツ学部メディア・コンテンツ学科の2学部4学科を宝塚大学造形芸術学部アート・デザイン学科、メディア・デザイン学科の1学部2学科に改組を行った。
- ③ 大阪梅田キャンパスに看護学部看護学科を開設した。
- ④ 学部・学科の改組・転換及び看護学部設置を機に志願者の確保のため、学生募集について進学情報誌・各種入試相談会・高等学校主催のガイダンス・オープンキャンパスを通し、本学の教育方針及び教育内容を理解してもらうよう努めた。

(2) 主な施設・設備の整備、事業の実施

- | | |
|--|------------|
| ① 宝塚キャンパス校舎の空調設備の改修 | 事業費 140万円 |
| ② 宝塚キャンパスバス乗り入れ進入路の造成 | 事業費 60万円 |
| ③ 宝塚キャンパス情報処理教室の機器及びソフトの更新 | 事業費 460万円 |
| ④ 私学事業団「教育学習方法等改善支援」の補助事業実施 | 事業費 170万円 |
| ⑤ 宝塚キャンパス入試・就職システム導入 | 事業費 100万円 |
| ⑥ 大阪梅田キャンパス看護学部の機器備品等の導入 | 事業費 900万円 |
| ⑦ 文科省「大学教育・学生支援推進事業(学生支援推進プログラム)」
の補助事業実施 | 事業費 1200万円 |
| ⑧ 東京新宿キャンパス校舎の空調設備の改修 | 事業費 840万円 |
| ⑨ 東京新宿キャンパスの学年進行に伴う機器及びソフトの更新 | 事業費 900万円 |
| ⑩ 東京新宿キャンパス学事システム更新、入試・就職システムの導入 | 事業費 200万円 |

3 財務の概要

(1) 決算の概要

①貸借対照表の状況

- ・平成22年度末の総資産は23,853百万円(前年比1,123百万円減)、総負債は3,839百万円(前年比1,661百万円減)となり、その結果、自己資金(総資産から総負債を控除した額)は20,014百万円(前年比538百万円増)となりました。主要科目の内容は、以下のとおりです。
- ・有形固定資産については、各キャンパスの老朽化対応及び学年進行に伴う設備の更新等で約263百万円増加しましたが、除却及び減価償却額を650百万円計上したことにより、全体として約400百万円の減少となりました。
- ・借入金については、約定どおり1,315百万円返済し、新規借入を行っていないため、当年度末残高は3,135百万円となりました。
- ・基本金については、施設・設備の増加及び借入金の返済等により1,049百万円組み入れし、当年度末の組入高は24,750百万円で、未組入高は2,613百万円となりました。

②収支計算書の状況

(消費収支)

- ・当年度の消費収入は2,187百万円となり、前年度に比べ61百万円の減収となりました。その主な内容は前年比学生生徒等納付金237百万円及び補助金59百万円の減収によるものであります。
- ・当年度の消費支出は2,699百万円となり、前年度に比べ11百万円の微減となりました。その主な要因は管理経費を前年比101百万円の削減に努めましたが、学年進行等に伴う人件費、教育研究費の前年比増及び資産処分差額の前年比増によるものであります。

以上の結果、当年度の消費収支差額は511百万円の支出超過(前年度比111%)となりました。

(資金収支)

- ・当年度の資金収入（繰越支払資金除く）は3,164百万円となり前年度に比べ1,178百万円の減収となりました。

その主な内容は、学生数の減少により学生生徒等納付金収入237百万円、補助金収入59百万円、前受金収入72百万円、それぞれが前年度に比して減収となっております。

また、借入金等収入については、新規借入を行わなかったことから前年度比675百万円の減少となりました。

- ・当年度の資金支出（繰越支出資金除く）は3,823百万円となり前年度に比べ385百万円の支出減となりました。

その主な内容は、教育研究経費支出及び管理経費支出については合計で109百万円が前年度比で減少し、さらに施設・設備関係で当年度予定分が翌年度にずれ込んだこともあり796百万円が前年度比で減少しました。

反面、その他支出（未払金支出等）で290万円が前年度比で増加しております。

以上の結果、当年度の資金収支差額は659百万円の支出超（前年度は133百万円の収入超）となり、次年度繰越支払資金は3,728百万円と前年度に比して659百万円の減少となりました。

(2) 経年比較(5年間)

- ① 貸借対照表
- ② 資金収支計算書
- ③ 消費収支計算書

(3) 主な財務比率の比較(5年間)

- ① 貸借対照表関係比率
- ② 消費収支計算書関係比率

※経年比較(5年間)、主な財務比率の比較(5年間)については次ページ以降を参照ください。

(2)① 貸借対照表5年間の推移

(単位:千円)

資 産 の 部					
科 目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
固定資産	(20,684,927)	(20,464,584)	(20,009,924)	(20,458,487)	(20,061,514)
有形固定資産	(20,065,975)	(19,850,409)	(19,404,365)	(19,889,938)	(19,490,706)
土地	9,298,687	9,298,687	9,298,687	9,298,687	9,298,687
建物	9,424,255	9,149,399	8,825,723	9,218,582	8,927,654
構築物	293,402	263,114	232,942	209,814	193,234
教育研究用機器備品	773,211	833,779	737,637	811,999	724,400
その他の機器備品	9,453	9,126	7,826	14,400	25,102
図書	266,967	296,304	301,550	336,456	319,617
車両	0	0	0	0	2,012
その他の固定資産	(618,952)	(614,175)	(605,559)	(568,549)	(570,808)
収益事業元入金	36,000	36,000	36,000	6,000	6,000
退職給与引当預金	118,366	113,519	104,837	97,781	100,000
第3号基本金引当預金	62,651	62,721	62,787	62,833	63,000
借地権	399,299	399,299	399,299	399,299	399,299
その他	2,636	2,636	2,636	2,636	2,509
流動資産	(3,053,677)	(3,652,964)	(4,319,953)	(4,519,063)	(3,792,344)
現金預金	2,954,884	3,558,063	4,255,018	4,388,055	3,728,865
前払金	98,793	60,568	46,253	117,010	40,309
未収入金	0	34,333	18,682	13,998	22,433
立替金	0	0	0	0	737
資 産 の 部 合 計	23,738,604	24,117,548	24,329,877	24,977,550	23,853,858
負 債 の 部					
科 目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
固定負債	(4,661,732)	(4,577,039)	(3,984,674)	(3,330,561)	(2,022,789)
長期借入金	4,425,000	4,350,000	3,775,000	3,135,000	1,830,000
退職給与引当金	236,732	227,039	209,674	195,561	192,789
流動負債	(2,514,655)	(1,777,289)	(1,707,518)	(2,170,883)	(1,816,667)
短期借入金	1,935,000	1,350,000	1,300,000	1,315,000	1,305,000
前受金	558,075	411,550	382,850	456,630	384,660
預り金	8,171	7,743	13,372	5,062	7,254
未払金	13,409	7,996	11,296	394,191	119,753
負 債 の 部 合 計	7,176,387	6,354,328	5,692,192	5,501,444	3,839,456
基 本 金 の 部					
科 目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
第1号基本金	20,382,459	21,409,395	22,166,786	23,466,593	24,516,023
第3号基本金	62,650	62,721	62,787	62,833	63,000
第4号基本金	171,000	171,000	171,000	171,000	171,000
基 本 金 の 部 合 計	20,616,109	21,643,116	22,400,573	23,700,426	24,750,023
消 費 収 支 差 額 の 部					
科 目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
翌年度繰越消費支出超過額	4,053,892	3,879,896	3,762,888	4,224,320	4,735,621
消 費 収 支 差 額 の 部 合 計	△ 4,053,892	△ 3,879,896	△ 3,762,888	△ 4,224,320	△ 4,735,621
負債の部、基本金の部、および消費収支差額の部合計	23,738,604	24,117,548	24,329,877	24,977,550	23,853,858

(2)② 資金収支計算書5年間の推移

(単位:千円)

収 入 の 部					
科 目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
学生生徒等納付金収入	3,349,247	3,579,833	3,403,105	3,204,863	2,968,240
手数料収入	27,899	23,511	23,252	21,365	22,796
寄附金収入	19,179	18,973	35,426	17,695	7,164
補助金収入	209,594	250,487	202,101	226,469	167,370
資産運用収入	19,505	19,954	21,157	15,631	9,684
事業収入	7,455	0	0	0	0
雑収入	129,017	111,616	68,566	59,985	61,690
借入金等収入	800,000	600,000	0	675,000	0
前受金収入	558,075	411,550	382,850	456,630	384,660
その他の収入	15,674	30,201	56,387	60,801	21,378
資金収入調整勘定	△ 456,375	△ 592,408	△ 430,231	△ 396,848	△ 479,063
前年度繰越支払資金	2,958,907	2,954,884	3,558,063	4,255,018	4,388,055
収入の部合計	7,638,177	7,408,601	7,320,676	8,596,609	7,551,974

支 出 の 部					
科 目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
人件費支出	1,046,491	1,200,921	1,146,112	1,122,504	1,126,535
教育研究経費支出	319,204	310,337	373,709	378,943	365,302
管理経費支出	804,569	678,902	739,498	595,841	499,893
借入金等利息支出	39,327	48,242	50,590	50,845	47,086
借入金等返済支出	1,910,000	1,260,000	625,000	1,300,000	1,315,000
施設関係支出	221,792	56,032	7,543	730,597	85,326
設備関係支出	242,220	303,063	133,012	328,544	178,045
資産運用支出	7,090	17,682	66	45	2,386
その他の支出	106,009	82,148	61,992	141,679	431,299
資金支出調整勘定	△ 13,409	△ 106,789	△ 71,864	△ 440,444	△ 227,763
次年度繰越支払資金	2,954,884	3,558,063	4,255,018	4,388,055	3,728,865
支出の部合計	7,638,177	7,408,601	7,320,676	8,596,609	7,551,974

(2)③ 消費収支計算書5年間の推移

(単位:千円)

消費収入の部					
科 目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
学 生 生 徒 等 納 付 金	3,349,247	3,579,833	3,403,105	3,204,863	2,968,240
手 数 料	27,899	23,511	23,252	21,365	22,796
寄 附 金	20,616	19,928	36,291	20,331	7,610
補 助 金	209,594	250,487	202,101	226,469	167,370
資 産 運 用 収 入	19,505	19,954	21,157	15,631	9,684
事 業 収 入	7,455	0	0	0	0
雑 収 入	129,017	111,616	68,721	59,985	61,690
帰 属 収 入 合 計	3,763,333	4,005,329	3,754,627	3,548,644	3,237,390
基 本 金 組 入 額 合 計	△ 1,203,151	△ 1,027,007	△ 757,457	△ 1,299,853	△ 1,049,598
消 費 収 入 の 部 合 計	2,560,182	2,978,322	2,997,170	2,248,791	2,187,792

消費支出の部					
科 目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
人 件 費	1,045,571	1,191,229	1,128,901	1,108,391	1,123,762
教 育 研 究 経 費	787,502	811,464	879,239	886,774	916,269
管 理 経 費	878,758	753,391	812,844	657,867	556,453
借 入 金 等 利 息	39,327	48,242	50,590	50,845	47,086
資 産 処 分 差 額	0	0	8,588	6,346	55,523
消 費 支 出 の 部 合 計	2,751,158	2,804,326	2,880,162	2,710,223	2,699,093
当 年 度 消 費 収 支 差 額	△ 190,976	173,996	117,008	△ 461,432	△ 511,301
前 年 度 繰 越 消 費 収 支 差 額	△ 3,862,916	△ 4,053,892	△ 3,879,896	△ 3,762,888	△ 4,224,320
翌 年 度 繰 越 消 費 収 支 差 額	△ 4,053,892	△ 3,879,896	△ 3,762,888	△ 4,224,320	△ 4,735,621

*消費収支差額の金額は、プラスの場合「収入超過」、マイナスの場合「支出超過」を表す。

(3)① 貸借対照表関係比率

(単位:%)

分類	比率	計算式	年度				
			18	19	20	21	22
自己資金の充実度	自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	69.8	73.7	76.6	78.0	83.9
	消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資金}}$	-17.1	-16.1	-15.5	-16.9	-19.9
	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	80.4	83.2	85.7	87.2	90.7
固定資産の 調達源泉の状況	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	124.9	115.2	107.4	105.0	100.2
	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金+固定負債}}$	97.5	91.6	88.5	89.7	91.0
資産構成の状況	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	87.1	84.9	82.2	81.9	84.1
	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	12.9	15.1	17.8	18.1	15.9
	減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価額}}$	32.3	35.2	38.6	39.6	42.3
負債に備える 資金の蓄積状況	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	121.4	205.5	253.0	208.2	208.8
	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	529.5	864.6	1111.4	961.0	969.4
	退職給与引当預金率	$\frac{\text{退職給与引当特定預金}}{\text{退職給与引当金}}$	50.0	50.0	50.0	50.0	51.9
負債割合の状況	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資金}}$	19.6	19.0	16.4	13.3	8.5
	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資金}}$	10.6	7.4	7.0	8.7	7.6
	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	30.2	26.3	23.4	22.0	16.1
	負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	43.3	35.8	30.5	28.2	19.2

*総資金=負債+基本金+消費収支差額

*自己資金=基本金+消費収支差額

(3)② 消費収支計算書関係比率

(単位:%)

分類	比率	計算式	年度				
			18	19	20	21	22
経営状況	帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入}-\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	26.9	30.0	23.3	23.6	16.6
収入構成の状況	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	89.0	89.4	90.6	90.3	91.7
	寄附金比率	$\frac{\text{寄附金}}{\text{帰属収入}}$	0.5	0.5	1.0	0.6	0.2
	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	5.6	6.3	5.4	6.4	5.2
支出構成の状況	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	27.8	29.7	30.1	31.2	34.7
	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	20.9	20.3	23.4	25.0	28.3
	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	23.4	18.8	21.6	18.5	17.2
	借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{帰属収入}}$	1.0	1.2	1.3	1.4	1.5
	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{帰属収入}}$	32.0	25.6	20.2	36.6	32.4
	減価償却費比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{消費支出}}$	19.7	20.5	20.1	21.0	22.1
収支のバランス	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	31.2	33.3	33.2	34.6	37.9
	消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	107.5	94.2	96.1	120.5	123.4

校舎	大学/大学院	学部/研究科	学科/専攻(入学定員)	専攻領域/研究領域
宝塚キャンパス 兵庫県宝塚市花屋敷 つつじが丘7番27号	学部	造形芸術学部	アート・デザイン学科(150)	美術 ファッションデザイン イラストレーション 写真・広告デザイン トータル空間デザイン
			メディア・デザイン学科(160)	マンガ アニメーション ミュージック・サウンドデザイン 映像メディア・ゲーム 舞台芸術
	大学院修士課程	メディア・造形研究科	造形・デザイン専攻(40)	ブランドコミュニケーションデザイン ビジュアルアート&デザイン ファッションアート&デザイン プロダクト&インテリアデザイン 建築&都市デザイン 芸術情報 基礎造形 伝統芸術
			メディア・コンテンツ専攻(40)	メディア・コンテンツ
	大学院博士課程	メディア・造形研究科	造形・デザイン専攻(3)	情報デザイン 環境デザイン ファッションデザイン 基礎造形 伝統芸術
大阪梅田キャンパス 大阪府大阪市北区芝田 一丁目13番16号	学部	看護学部	看護学科(100)	
	大学院修士課程	メディア・造形研究科	造形・デザイン専攻(サテライト)	ブランドコミュニケーションデザイン ビジュアルアート&デザイン ファッションアート&デザイン プロダクト&インテリアデザイン 建築&都市デザイン 芸術情報 基礎造形 伝統芸術
			メディア・コンテンツ専攻(サテライト)	メディア・コンテンツ
	専門職大学院 専門職学位課程	デザイン経営研究科	デザイン経営専攻(20)	サービス・リテリング ファッション・コスメティック コミュニケーション・デザイン 環境・プロパティ
東京新宿キャンパス 東京都新宿区西新宿 七丁目11番1号	学部	東京メディア・コンテンツ学部	メディア・コンテンツ学科(130)	映画コース マンガコース アニメーションコース ゲームコース イラストレーションコース
	大学院修士課程	メディア・造形研究科	造形・デザイン専攻(サテライト)	伝統芸術
			メディア・コンテンツ専攻(サテライト)	メディア・コンテンツ
	大学院博士課程	メディア・造形研究科	造形・デザイン専攻(サテライト)	伝統芸術